

令和7年度 保健医療政策課所管「地域保健福祉関係職員研修」実施報告

研修の名称	目的・内容等	対象者（目標キャリアレベル）	時期・方法・参加人数	テーマ・講師
健康福祉セミナー	健康医療福祉分野における最新の課題等について、関係機関連携、多職種連携を実践的に図るためのセミナーを行う。	県及び市町村の地域保健福祉関係職員、地域の医療・福祉従事者等	<p>■1回目 令和7年8月5日(火) 14:00~16:00 オンライン開催・オンデマンド配信 (申込) 県255名 市町村22名 その他9名</p> <p>■2回目 令和8年2月3日(火) 14:00~15:30 オンライン開催・オンデマンド配信 (申込) 県 237名 市町村11名 その他3名</p>	<p>■1回目 講演「よく休み、よく学べ-今こそ身に付けたい休養リテラシー-」 講師：日本リカバリー協会 代表理事 片野 秀樹 氏</p> <p>■2回目 講演「人生100年時代の真実-老いと死をタブーにしない社会へ-」 講師：作家・医師 久坂部 羊 氏</p>
健康福祉研究発表会	保健・医療・福祉に関する事業、調査等の成果について、日頃業務に従事する職員による発表会。発表および意見交換の機会を持つことで、専門性向上や、相互ネットワークの醸成、業務改善を目指す。	県及び市町村の地域保健福祉関係職員、大学教員	2月20日（金）9:30～16:00 埼玉会館 小ホール、3C・7A・7B会議室 (申込) 県69名、市町村54名、その他8名	<p>◇口頭発表題68題（ワークショップ等含む）・ポスター発表10題 シンポジウム5題「創造力と協創で実現する新たな公衆衛生」 座長：自治医科大学 看護学部 教授 春山早苗 氏</p> <p>◇講演テーマ：「つながり、支え合い、ともに生きる～生物学の視点から、未来の公衆衛生を考える～」 講師：東京大学定量生命科学研究所教授 小林 武彦 氏</p> <p>◇誌上発表 41題</p>
保健所別研修	各保健所において、地域の実情に応じて、公衆衛生、地域保健に関する専門研修を行う。	県・市町村・各種施設の関係職員 (各保健所の定める人数)	各保健所の定める時期・方法	各保健所で実施
拠点保健所における人材育成研修	各拠点保健所において、人材育成に関する研修を広域的に行う。	県及び市町村の保健師、関係職員	拠点保健所の定める時期・方法	拠点保健所で実施
派遣研修	国立保健医療科学院、結核研究所等の研修機関が主催する研修へ職員を派遣し、各分野の専門知識、最新情報の習得を目指す。	県保健医療部職員	通年	実施主体で実施
日本公衆衛生学会総会派遣	最新の研究成果が数多く発表され、公衆衛生の先導的役割を果たす当学会での発表を希望する職員の旅費を負担し、派遣する。(衛生教育推進事業)	原則学会員である県保健医療部職員	10月29日(水)～10月31日(金) 開催地：静岡県静岡市	テーマ「フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理」

保健医療（福祉）関係職員

令和7年度 保健医療政策課所管「地域保健福祉関係職員研修」実施報告

研修の名称	目的・内容等	対象者（目標キャリアレベル）	時期・方法・参加人数	テーマ・講師
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">保健師分野別研修</p> <p>保健師ステップアップ研修</p>	<p>■1年目 ベーシック編 キャリアレベルA 1の獲得を目指す新任保健師が、行政保健師に求められる姿勢や、基本的な活動展開の方法について学ぶとともに、他地域の新任保健師との交流を持ち、積極的に活動する意欲や柔軟な発想を持つよう促す。</p> <p>■2年目 レベルアップ編 採用2年目となる県又は市町村保健師が、保健師人材育成プログラムに基づくキャリアラダーや自職種理解を深める演習を通して、目指したい保健師像を共有することで、前向きな保健活動を行う機会とする。また、地域の健康課題を積極的に把握し、地域特性に合わせた保健活動展開に向けた視点や方法を学ぶ。</p> <p>■3年目 チャレンジ編 採用3年目となる県又は市町村保健師が、中堅期に向けて地域の健康課題を積極的に把握し、前向きな保健活動が展開出来る。</p>	<p>■1年目 ベーシック編 県又は市町村に採用され、キャリアレベルA 1の獲得を目指す新任保健師</p> <p>■2年目 レベルアップ編 ・採用2年目となる県又は市町村保健師 ・県又は市町村に所属し、キャリアレベルA 2以上の獲得を目指す保健師</p> <p>■3年目 チャレンジ編 ・採用3年目となる県又は市町村保健師 ・県又は市町村に所属し、キャリアレベルA 2以上の獲得を目指す保健師</p>	<p>■1年目 ベーシック編 6月11日（水）9:30～16:20 さいたま商工会議所第1・2ホール（参加）県 13名、市町村 96名</p> <p>■2年目 レベルアップ編 7月24日（木）9:30～16:40 さいたま共済会館 601会議室（参加）県 10名、市町村 84名</p> <p>■3年目 チャレンジ編 12月3日（水）9:25～16:35 （参加）県 11名、市町村 62名</p>	<p>■1年目 ベーシック編 実践報告「保健活動の展開と楽しさ」県技師級保健師 講義「AI時代の実践的ロールプレイング～新しい学びのカタチ～」 講師：企画財政部 行政・デジタル改革課 主事 池田 啓治氏 演習「目指したい保健師像を考える～キャリアラダーに基づいた目標設定～」 講義：埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 教授 石崎 順子氏ほか 実践報告：「行政保健師としての意識と姿勢～主体的な保健活動に向けて～」 講師：保健医療部 保健医療政策課副課長 小泉優理</p> <p>■2年目 レベルアップ編 講義・演習「目標の見直しと再設定～1年間の振り返りと今後の展望～」 講師：埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 教授 石崎 順子氏ほか 実践報告：「保健活動の展開と楽しさ～保健活動の経験から学ぶ実践力～」 朝霞保健所 主任 関口 茉希氏 演習「キャラ化ワークショップ～自職種の理解を深めよう～」 講師：埼玉医科大学 医学部教養教育 准教授 米岡 裕美氏 講義「他職種の立場からみた保健師への期待」 講師：保健医療部 保健医療政策課 主査 栗原 貴美子 講義「保健師の成長のために～探求心を持ち、経験を活かす～」 保健医療部 保健医療政策課副課長 小泉優理</p> <p>■3年目 チャレンジ編（予定） 講義・演習「キャリアレベルA 2・A 3を目指して～個から地域へ住民との協働の視点～」 講師：埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 教授 石崎 順子氏 講義「施策展開に必要な保健師の役割と能力」 講師：さいたま市保健衛生局 副理事 岩瀬真澄 氏 演習「課題解決に向けた積極的な観点を持つ～事業・施策の検討と提言～」 講師：さいたま市保健衛生局 副理事 岩瀬真澄 氏 保健医療部 保健医療政策課副課長 小泉優理 実践報告「根拠に基づく事業・施策展開の実践～創造育成研修参加の経験から～」</p>
トピックス研修	中堅期保健師として求められるキャリアラダーA3レベルの能力の獲得を目指す。 (OJTを中心とした保健師現任教育を推進するための人材育成研修を行う。)	キャリアレベルA4以上を目指す保健師	12月22日（月）13:30～16:40 さいたま商工会議所 第1・第2ホール (参加) 県17名、市町村22名	<p>【講義】「埼玉県の外国人住民の現状と活用できる資源の理解」 講師：埼玉県県民生活部 国際課 多文化共生担当</p> <p>【実践報告】「多国籍・多文化を抱える地域での支援～漫画を用いた健康教育活動への挑戦～」 講師：川口市保健所 疾病対策課 感染症係 佐藤尚美</p> <p>【講義】「多様な国籍の家族が安心して暮らしていくための連携と活用を考える」 講師：公益財団法人かながわ国際交流財団 多文化共生グループ 福田久美子氏</p> <p>【意見交換・発表】「前向きな保健活動のために～先事例からの学び、各自自治体の取組の共有～」</p> <p>【講義】「多様な文化や背景を持つ住民が安心して暮らせる地域づくりのために」 講師：地域国際化推進アドバイザー</p>

令和7年度 保健医療政策課所管「地域保健福祉関係職員研修」実施報告

研修の名称	目的・内容等	対象者（目標キャリアレベル）	時期・方法・参加人数	テーマ・講師
<p>ブレ管理期研修</p>	<p>県及び市町村の管理的立場の保健師が、効果的な保健活動を組織的に展開するために求められる能力や果たすべき役割を理解し、地域住民の健康の保持・増進に貢献する資質の向上を図る。（1.5日間）</p>	<p>県及び市町村の管理者あるいは次期管理者の保健師</p>	<p>半日間の研修を2日間開催 ◇1日目 6月10日（月）～28日（金） オンデマンド配信 ◇2日目 7月12日（金）13:15～16:35 オンライン開催 （参加）県6名、市町村24名</p>	<p>■1日目 講義①「保健師管理者に必要な機能と能力」 講義②「根拠に基づく事業・施策の展開」 講師：森永 裕美子氏（岡山県立大学保健福祉学部 看護学科 教授） 講義③「事業・施策の展開における管理者のあり方」 講師：八潮市 健康増進課 主幹 布施 由美子氏 講義④「管理期保健師への期待」 講師：蓮田市 健康福祉部 次長兼健康増進課長 清野 哲 氏 ■2日目 グループワークコーディネーター：森永裕美子氏（岡山県立大学保健福祉学部 看護学科 教授）</p>
<p>管理期保健師研修</p>	<p>管理者保健師としてマネジメント能力及びリーダーシップ向上に資するため、活動指針の活用や健康危機管理に関する研修を行う。（2日間）</p>	<p>県及び市町村の管理的立場の保健師</p>	<p>■1回目 8月20日（水） さいたま商工会議所第1・2ホール （申込）県 14名、市町村 45名 ■2回目 3月11日（水）9:30～16:10 さいたま共済会館 501、502会議室 （申込）県 17名、市町村 46名</p>	<p>■1回目 講義「2040年を見据えた保健師活動」 講師：自治医科大学 看護学部 教授 春山 早苗 氏 ■2回目 講義「埼玉県における人材マネジメントの実際と統括保健師の役割」 講師：保健医療部 保健医療政策課 副参事兼熊谷保健所副所長 鈴木 しげみ氏 講義「統括保健師による人材育成の体制づくり」 講師：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻看護学分野 准教授 茂木 りほ 氏</p>
<p>県・市町村保健師連絡調整会議</p>	<p>各保健所で管内において地域別会議を開催するとともに、当課主催で県全体会議を開催。情報・課題を共有し、現任教育に役立てる。（2日間）</p>	<p>県及び市町村の管理的立場の保健師</p>	<p>■1回目 8月20日（水） さいたま商工会議所第1・2ホール （申込）県 14名、市町村 45名 ■2回目 3月11日（水）9:30～16:10 さいたま共済会館 501、502会議室 （申込）県 17名、市町村 46名</p>	<p>■1回目 【事例報告1】自治体における保健師活動指針について 発表者：保健医療政策課 主査 栗原 貴美子、飯能市 健康推進部保健センター 主査 川村 裕美子氏 【事例報告2】「市での統括保健師の配置と保健師活動への期待」 ・熊谷市議会事務局 主幹（前熊谷市市民部長）田島 尚栄氏 ■2回目 【報告】 「県内市町村における保健師の人材確保・定着に関する実態調査結果について」 発表者：保健医療政策課 主任 井上 真奈 【事例報告1】統括保健師の配置に向けた取組と今後の活動 発表者：蓮田市健康福祉部健康増進課 主幹 小林 洋子 氏 【事例報告2】職場内教育として実践継続している事例検討会の取り組み～大学と連携した学会発表を経験して～ 発表者：小鹿野町 こども課 主席保健師 齋藤 和子氏</p>

保健師分野別研修

令和7年度 保健医療政策課所管「地域保健福祉関係職員研修」実施報告

研修の名称	目的・内容等	対象者（目標キャリアレベル）	時期・方法・参加人数	テーマ・講師
<p>保健師教育担当者（プリセプター）研修</p>	<p>新任保健師育成の重要性を学び、効果的に新任保健師を育成するスキルを習得する。 併せて、新任保健師と共に育ち合う意識を持ち、保健師教育担当者（プリセプター）として得た経験を保健活動に活かすことを目指す。</p>	<p>県及び市町村の保健師教育担当者（プリセプター）でキャリアレベルA2～A3の獲得を目指す保健師</p>	<p>■1日目 7月30日（水）13:25～16:30 さいたま商工会議所第1・2ホール（参加）県 9名、市町村 38名 ■2日目 11月18日（火）13:25～16:30 さいたま商工会議所第1・2ホール（参加）県 7名、市町村 37名</p>	<p>■1日目 【講義】「新任保健師への効果的なフィードバック」 講師：さいたま市 緑区保健センター 主査 谷口綾子 氏 【講義】「プリセプターの役割と経験学習」 講師：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻看護学分野 教授 嶋津多恵子 氏 【演習】「多様な背景を持つ新人保健師の育成について考えてみよう」 講師：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻看護学分野 教授 嶋津多恵子 氏 ほか 【講義】 「自治体保健師の人材育成と人材育成ツールの活用～新任保健師の育成に向けて～」 講師：保健医療部 保健医療政策課 副課長 小泉優理 ■2日目 【実践報告】「プリセプターを経験して学んだこと～共に育ち合う育成を考える～」 講師：鴻巣保健所 保健予防推進担当 主任 古川紗英 氏 【講義】「経験学習を深める人材育成面接」 講師：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻看護学分野 教授 嶋津多恵子 氏 【演習】「プリセプターを担うことによる学びの振り返り～新任保健師の人材育成を考える～」 講師：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻看護学分野 教授 嶋津多恵子 氏 ほか</p>

令和7年度 保健医療政策課所管「地域保健福祉関係職員研修」実施報告

	研修の名称	目的・内容等	対象者（目標キャリアレベル）	時期・方法・参加人数	テーマ・講師
保健師分野別研修	新任保健師研修	行政保健師に求められる姿勢や、基本的な活動展開の方法を学ぶと共に、他地域の新任保健師との交流を持ち、積極的に活動する意欲や柔軟な発想を持つよう促すことを目的とする。	キャリアレベルA1の獲得を目指す 新任保健師		令和7年度より保健師ステップアップ研修に統合します。
	採用2年目保健師フォローアップ研修	地域の健康課題を積極的に把握し、地域特性に合わせた保健活動展開に向けた視点や方法を学ぶ。ひいては、県民の健康増進への寄与を目指す。	県採用2年目保健師		
	採用3年目保健師フォローアップ研修	地域の健康課題を積極的に把握し、地域特性に合わせた保健活動展開に向けた視点や方法を学ぶ。また、これまでの活動の振り返ると共に、自分の課題を把握し、今後のジョブローテーションを見据えた目標設定を行う。	県採用3年目保健師		
	創造育成研修	地域の健康課題を積極的に把握し、前向きな保健活動が展開出来る。ひいては、県民の健康増進への寄与を目指す。 講師やファシリテーターを担う県保健師においても、管理期及びび管理期の人材育成能力向上を図るとともに、保健活動の技術継承を促進する。	(1) 参加者 キャリアレベルA 4～A 5を目指す、採用年数4年目から15年目までの県又は市町村保健師 (2) ファシリテーター 主幹・担当部長級の保健師	<p>■1日目 6月20日(水) 9:30～16:30 埼玉県民健康センター 1階 大会議室A (参加) 県9名、市町村 10名</p> <p>■2日目 7月16日(水) 9:30～16:30 さいたま商工会議所 第1・第2ホール (参加) 県9名、市町村 10名</p> <p>■3日目 グループごとに別途定める日</p> <p>■4日目 9月3日(水) 9:30～16:30 さいたま商工会議所 第1・第2ホール (参加) 県9名、市町村 10名</p> <p>■5日目 11月6日(木) 9:30～16:30 さいたま商工会議所 第1・第2ホール (参加) 県9名、市町村 10名</p> <p>■6日目(健康福祉研究発表会) 令和8年2月20日(金) 埼玉会館</p>	<p>■1日目 演習Ⅰ「グループ課題検討・決定」演習Ⅱ「課題共有と情報の整理」 講師：自治医科大学 看護学部 教授 春山 早苗 氏 ほか</p> <p>■2日目 演習Ⅲ「地域課題に対する現状分析」演習Ⅳ「インタビュー先の検討・日程調整」 講師：自治医科大学 看護学部 教授 春山 早苗 氏 ほか</p> <p>■3日目 グループごとに定める日にインタビュー実施</p> <p>■4日目 演習Ⅴ「インタビュー結果の分析」演習Ⅵ「事業・施策の検討」 演習Ⅶ「事業・施策により期待される効果の検討」 講師：自治医科大学 看護学部 教授 春山 早苗 氏 ほか</p> <p>■5日目 演習Ⅷ「中間発表」演習Ⅸ「研修6日目に向けてのまとめ」 講師：自治医科大学 看護学部 教授 春山 早苗 氏 ほか</p> <p>■研修6日目 健康福祉研究発表会にて発表</p>
埼玉県保健師研修	保健師派遣研修	中央会議、師長研修会（徳島県）、ブロック別研修会（茨城県）等へ派遣	県保健師	通年	実施主体で実施
	国立保健医療科学院主催研修等参加者による復命研修	国立保健医療科学院主催研修等に参加した保健師が、受講した研修内容について発表を行うことで、研修で得た知識や体験について広く共有を図る。ひいては、現行の業務にとらわれず、県民の健康増進に積極的に寄与し、地域課題解決への意識向上を目指す。	県保健師	3月2日(月)～3月31日(火) オンデマンド配信	<p>■内容 講義「ネパール結核対策スタディツアー」南部保健所 主任 石北芽依 講義「最新情報集中コース」狭山保健所 主任 国枝秋子 講義「児童虐待防止研修」熊谷保健所 技師 石川真穂 講義「たばこ対策の施策推進における企画・調整のための研修」健康長寿課 技師 竹田彩海</p>